

## 新ダイルート堰群建設計画【エジプト】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	エジプト・アラブ共和国
(2) 案件名	新ダイルート堰群建設計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>エジプト中部ダイルート市のナイル川支水路において堰を新設し、水管理システムを強化することにより、効率的な水配分の実現を図り、もって上エジプト地域の農業生産性の向上に寄与するもの。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堰の建設</li> <li>・ 水管理システムに係る資機材調達</li> <li>・ コンサルティング・サービス</li> </ul> <p>ア 閣議決定日：平成27年3月13日                      イ 供与限度額：58.54億円                      ウ 金利：0.1%（コンサルティング・サービスについては0.01%）                      エ 償還（据置）期間：40年（10年）                      オ 調達条件：日本タイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業の計画当初、エジプトは降雨量が極めて少なく、水資源のほとんどをナイル川に依存している一方で、スーダンとの国際水利協定によって、エジプト側のナイル川水源の年間利用可能水量が制限されていた。また、年率2%程度の人口増加やそれに伴う食糧増産と農地開拓の圧力、5%を超える経済成長（2011年の政変で鈍化）により、農業・工業・生活用水の水需要が大幅に増加しており、水需要の80%以上を占める農業セクターでの効率的・合理的な水利用の実現は、同国の喫緊の課題となっていた。</p> <p>現在においても、降雨量が極めて少ない一方で、人口は引き続き増加傾向にあり、水資源の効率的な活用のた</p>

	<p>めの灌漑施設の整備は急務であることから、本事業に関する社会的ニーズが引き続き認められる。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>先方政府による詳細設計、入札、入札評価及び請負業者契約締結手続の各プロセスで交渉及び調整が長期化したことに加え、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けて更なる遅延が発生したが、2022年4月に着工。現在、2026年の完工に向けて工事は順調に進んでおり、2025年4月時点で事業全体の進捗率は約80%である。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本事業に対するニーズが引き続き存在し、事業完成後は当初予定通りの効果が見込まれている。また事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、支援を継続する。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交換公文</li> <li>・ <a href="#">外務省の約束状況に関する資料及び案件概要</a></li> <li>・ <a href="#">国際協力機構の案件検索</a></li> <li>・ <a href="#">国際協力機構の事業事前評価表</a></li> <li>・ そのほか国際協力機構から提出された資料</li> </ul>